

I 実践

1 研究主題

思いやりの心を育み、自他の立場や気持ちを考えて公正公平にふるまう態度を養う人権教育の在り方

(1) 主題設定の理由

本校の教育目標は「夢をもち、心豊かに、たくましく生きる日高っ子の育成」である。「心豊かに」は人権尊重の理念である「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」に深いかわりを持つ。この教育目標の具現化のための努力事項の施策の1つに「地域の方やゲストティーチャーとの心の触れ合いができる活動の工夫」がある。様々な学校行事や教育活動における、地域の方との心の触れ合いを通して、日高の人、自然、文化を愛し、地域や郷土の自然文化と共に生きる心豊かで思いやりのある日高っ子の育成を目指している。

また、情緒障害学級「しいのき」、ことばの教室、知的障害学級「ゆりのき教室」、通級指導学級「かしのき」があり、特別支援学級の児童と共に学んでいこうとする姿勢を身に付けることが大切であると考えている。

そこで、集団活動を通して、思いやりの心を育み、自他の立場や気持ちを考えて公正公平にふるまう態度を養うことをねらい、本主題を設定した。

(2) 研究内容

- ア 職員研修により、人権意識の高揚と力量のアップを図る。
- イ 各教科・領域の学習を通して、思いやりの心を育て、公正公平な態度を養う。
- ウ 異学年交流活動を推進し、思いやりの心を育てる。
- エ よい行いを奨励し（日高っ子賞）、思いやりの心を育てる。
- オ 朝のあいさつ運動による学校・地域に響き渡る元気なあいさつを通して、基本的な生活態度や習慣の育成を図る。
- カ 高齢者や地域の方との交流行事に参加して、感謝や思いやりの心を育てる。

2 実践内容

(1) いじめノックアウト集会

児童が中心になって、いじめを考えるための集会を企画した。その後各クラスでいじめについて考える時間を設けた。

(2) 4年生の総合的な学習の時間「高齢者にやさしく」

- ア 運動会の予行練習や運動会の敬老種目への招待
- イ ひたちの森ガーデンへの訪問
- ウ 日高地区三世代スポレク祭の参加

(3) 人権標語の取り組み

全クラスで人権について考え、人権に関する標語をつくり中央昇降口に掲示した。



(4) 兄弟学級遊び

上級生が中心となって、楽しんでもらえるように計画を立て、交流をした。

(5) 異学年との交流学习

4年生が1年生に学校を案内したり、遊具やグラウンドの使い方と一緒に遊びながら教えたりした。2年生も「なかよししゅうかい」を企画し、1年生と名刺交換や外遊びをした。



(6) 日高っ子賞

地域へのボランティア活動やみんなが気持ちよくなる清掃活動などに贈られ、全校朝会等で表彰される。

(7) 朝のあいさつ運動

高学年の事務局の児童が中心となって、朝、昇降口に立ち、あいさつ運動を実施している。11月のあいさつ運動では、日高市民自治会の方と共に校門付近に立ち、あいさつ運動を展開している。



(8) おんもさ祭への参加

地域自治会が中心となって行われるこの祭に、日高小児童のコーナーが設けられている。地域の方や教師の支援を受けながら、児童が自分たちで考えたゲームコーナーを運営した。

3 成果

- 各教科・領域での学習や行事では、計画の段階で相手の立場（高齢者や下級生）を考えながら、自分たちのできることは何か考えることができた。また、実際に触れ合う場面では、思いやりをもって相手と関わる姿が見られた。
- 地域の人との触れ合いのなかで、たくさんの人に見守られていることに気づき、感謝の気持ちをもつことができるようになった。
- 継続して取り組んでいる朝のあいさつ運動や「日高っ子賞」により、自分も相手も気持ちのよい行動が広がっている。校内から地域へさらに広げていきたい。

Ⅱ 課題

- 各学年のめあてに沿って、さらに充実した人権教育の推進を図っていきたい。
- 異学年交流の更なる充実を図り、小学校全体として思いやりの気持ちを広げていきたい。

Ⅲ 人権コーナー

「人権とは何か」が分かりやすいように配慮して人権コーナーを設けている。また、「あなたの思い わたしの思い」をキーワードに、各種福祉活動の報告や児童が書いた人権メッセージの紹介などを行っている。

